

委任者の指図と受任者の権限 (二)

大塚 智 見

第一章 課題設定 (以上、一三四卷一〇号)

第二章 フランス法

第一節 委託の範囲の生成過程

第一款 フランス古法における委託の範囲

- 一 委任の種類と委託の範囲の解釈
- 二 委託の範囲逸脱の効果
- 三 小 括

第二款 起草過程における委託の範囲

- 一 政府委員会草案の完成
- 二 民法典の成立
- 三 小 括

第二節 委託の範囲による受任者の権限の制約

第一款 委任の種類と委託の範囲の解釈

- 一 「包括的な文言による委任」における委託の範囲
- 二 「明示の委任」における委託の範囲
- 三 小 括

第二款 委託の範囲逸脱の効果

- 一 受任者の行為の委任者への帰属

二 受任者の責任

三 小 括

第三節 委任者の指図による受任者の権限の制約

第一款 責任判断における指図

- 一 学説における指図概念の発見
- 二 指図の存在と手段債務・結果債務
- 三 小 括

第二款 指図に従う義務の定立

- 一 商法学説における指図に従う義務
- 二 民法学説における指図に従う義務
- 三 小 括

第三款 指図と委託の範囲

- 一 指図と委託の範囲の区別の意義
- 二 規律内容による区別の可能性
- 三 小 括

第四節 小 括 (以上、本号)

第三章 ドイツ法

第四章 委任者の指図と受任者の権限